

8月定例会報告

8月22日(土)午後1時45分~4時30分

会場：立川・NHK 別室 出席者8名

残暑が厳しい中、例会場の会議室を管理している西東京営業センターが締切りで誰も居らず、立ち往生となりました。他の部署の方が面倒を見てくださり、いつもと別の部屋で例会を開催することが出来ました。

定刻より15分遅れて1時45分から開会、出席会員は7名で、堤アドバイザーとの計8名でした。11月28日の例会日に撮影現場で堤さんに教えて頂く「撮影勉強会」を多摩動物公園で行なうことを決め、時期が近くなったら詳細を改めて会員に知らせることとしました。先月も問題となった発表作品の長さ制限10分を変更するか否かについて意見交換しましたが、出席者が少ないこともあり、ペンディングとしました。時間が大幅に余ったので、久しぶりにQ&Aを行ないました。内容は“[2. Q&A\(「質問と答え」の自由意見交換\)](#)”をご覧ください。

1. 自主作品の発表と堤 講評&会員の合評

上記のように臨時例会場となった部屋のDVDプレーヤーとモニターテレビがブルーレイ用ではなかったため、二人の会員のBD作品は発表できず、DVD作品4本の発表にとどまりました。

渡辺 實さん「夏のイベント in Fuchu」5分27秒



府中市夏の恒例商工まつりのイベント取材しました。大国魂神社の境内

参道一杯に市内商工業が出店し、神社参道のけやき並木ではよさこい踊りやサンバパレードなどが賑やかに行われました。評：タイトル画は踊りのような祭らしいものの方が良い。神社境内の商工まつりでは出品を買う客の姿が欲しい。よさこい踊りのアップは良かったが、マスの踊りも必要だ。サンバ踊り

に乗りの良いおばさんが面白いので、もっと撮りたかった。イベントの芸を見る見物人の表情ももっと撮りたかった。

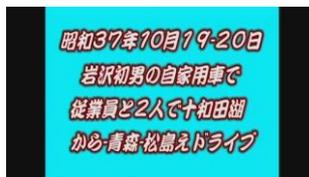
竹科直士さん「北の旅情」9分10秒



平成20年9月、北海道旅行を4:3のDVで写す。3日間共、割合天気が良かった。60分の映像

を9分10秒に短縮する。評：うまい！全体にカットがしっかりしているが、5秒あるかどうかと短いので10秒ぐらいまで長くした方が良い。北海道を総花的に紹介しているが、要所に重点を置いてそのカット数を増やした方が良い。1ヶ所だけ‘カットめぐり’をしているのはおかしい。見る人がその意味を考えてしまうから。カメラを三脚に立てて自分撮りする際、横を通過するのではなく、正面のやや遠くから来るのを撮ると良かった。

岩沢 初男さん「東北十和田湖・松島」11分20秒



昭和37年10月19~20日に私の自家用車で東北十和田湖と松島へドライブに行ってみました。川

越から大宮を通り抜け、春日部に出てから国道4号線で福島を通り抜け、白石市から仙台、十和田、松島へ回りドライブをしてみました。往復の道のりは距離が約1,687キロメートル、燃料はガソリン約200リットルです。評：高速道が無い50年前に一泊で十和田湖往復の強行軍は若さでやり切ったですね。青森のリンゴ並木などの当時の風物が懐かしく面白い。しかし、原版のカラーズライドが劣化していて「奥入瀬の紅葉は素晴らしかった」と云っても観賞には耐えないので、風景の紹介には使えない。松島の当時と現在を対比しているが、現在の画の周囲に枠を付けるとか、加工すると良かった。

古谷 毅さん「御嶽渓谷を歩く」6分44秒



涼を求めて山の仲間と渓谷を歩き、おいしい手打ちそばを食べて満足のハイキングでした。評：鮎

を釣っている人が3カット続くが、別なカットを間に挟むと変化が出てよい。電車の乗り降りのシーンは、カメラをまわしながら自分も一緒に乗り降りすると臨場感が出る。

2. Q&A (「質問と答え」の自由意見交換)

- **Q:** 最近ビデオカメラは4Kの品揃えが増え、デジカメ(一眼)4Kなどいろいろあって、どれを選んだらいいか。**A:** 一眼カメラは動画撮影に不得手な部分がありますが、最近の製品はかなり改善されています。現状は自宅や例会場での4K TVの再生環境が殆ど無く、編集ソフトやPCも4Kに対応しているものがが必要です。取り敢えず4Kで撮影して2Kで鑑賞するような方法もあります。
- **Q:** 花火撮影時のカメラ設定はマニュアルかオート、又はシーンセレクションの花火を選ぶか。**A:** 花火モードを選んだ時の注意事項は花火の撮影に問題ありませんが、観客などを一緒に撮影する場合は観客が暗くなるので注意と発言ありました。オートでは明るさの変化やフォーカスの追従性など難しいので、マニュアルでの対応も必要になります。
- **Q:** 作品の音量に関してどのようにしたらよいか。**A:** 音声レベルは絶対的レベルと相対的レベルがあり、絶対的レベルは0db(デシベル)に対して基準値をどのレベルにするかという事です。相対的レベルは作品の中のナレーションやBGM、現場音などの相互レベルのことで、このレベルを適正に保たないと聞き取りにくいものになってしまいます。また、ピークメーターの黄色部分までで留めておかないと音が割れて聞き苦しくなります。作品全体の最大レベルでは-6db程度を目標にすると良いようです。

みんなの広場



松本で暮らして

降旗 廣邦

私は2013年7月から松本市梓川に移住しました。ここは私の故郷であり、近所には小学校の同級生3人が健在で、50年近い空白期間の変化を少し埋めてくれます。5月から11月まで農業が忙しく、撮影や編集になかなか手が出せません。そんなわけでビデオクラブの会員資格は継続していますが、これといった作品も作っていません。でも義兄から依頼された「峠マラソン」だけは下見から当日の撮影まで、きちんとやっています。義兄は一つ上の医師ですがマラソンに強く、出来る限り各地の峠を走りたいとの希望で、今年は「柳沢峠」と「杖突峠」を撮影しました。車が運転出来る間はこちらで暮らす積りで、家内と共に頑張っています。

10月例会のお知らせ

10月24日(土) 午後1時30分~5時
例会に常連で出席の会員が何名か欠席するようなので、可能な人は奮って出席されるようお願いいたします。

(編集後記)

最近、自分の作品の中にイラストを使用するようになりました。補足説明でどうしても適当なものがない時に、自分でイメージした絵を描いています。数十年ぶりに描いているのでうまくはないのですが、意外と面白かったりします。試しにトライしてみたらいかがでしょうか。

(荒木 勉 記)